

管理型処分場で県内処理貢献

(公財)エコサイクル高知

管理システムで受入効率化

公益財団法人エコサイクル高知（高知県日高村、岩城孝章代表理事、☎0889・246210）が運営するエコサイクルセンタ

ーが好調だ。それまで県外排出に依存していた同県廃棄物の県内処分を担う施設として地

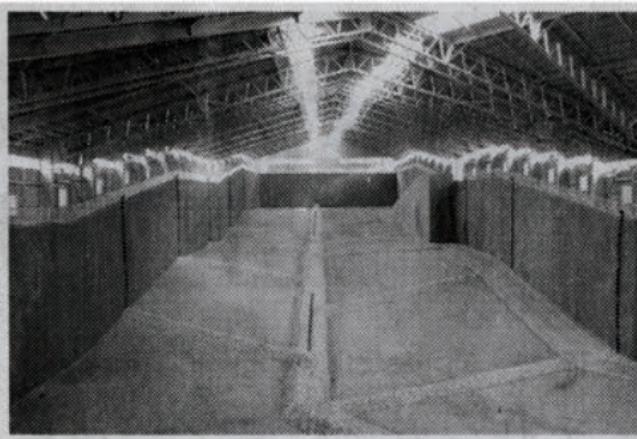
域に貢献している。

同施設は2011年9月竣工、翌10月開業。

県内初の管理型最終処分場として誕生した。埋立容量11万1550立方メートルで、浸出水を施設外に出さないクローズドシステムを採用。受入品目は燃え殻、ば

いじん、汚泥（無機性汚泥、ただし建設汚泥を除く）、鉱さい、廃石綿等、廃石膏ボード、建設混合廃棄物等となつていて。また、医療廃棄物の中間処理施設も併設しており、これまで高知県外での処理に依存せざるを得なかつた産業廃棄物の県内での最終処分が可能となりた。

廃棄物の受入管理業務には、エスエムエス（和歌山市、辻雅敏社長、☎073・435・4111）が開発したパッケージソフトを用いたシステムを採用。(1)計量管理を行う産廃シロ一、(2)売り上げ管理を行う産廃キング、(3)数量管理を行つた産廃イチローで構成されており、受入業務から各事業者への請求事務に至るまで、初心者にも使いやすい操作性と迅速なサポート対応とで、スマーズな事務処理を可



エコサイクル高知の被覆施設